

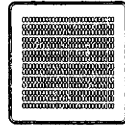
MITSUBISHI

ダクト用換気扇 台所用

販売店・工事店さま用

優良住宅部品「BL」認定

形名
 VD-20Z6-BL (BL規格台所用Ⅱ型) VD-23ZP6-BL (BL規格台所用Ⅳ型)
 VD-20ZH6-BL (BL規格台所用Ⅱ型) VD-23ZPH6-BL (BL規格台所用Ⅳ型)



取付工事説明書

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。
 なお「安全のために必ず守ること」は取付工上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗・台所の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込みスイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱電機換気送風機カタログより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクトのいずれかをご用意ください。

形名によって取付工事が異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。

形名確認
 グリル裏面に貼り付けてあります

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

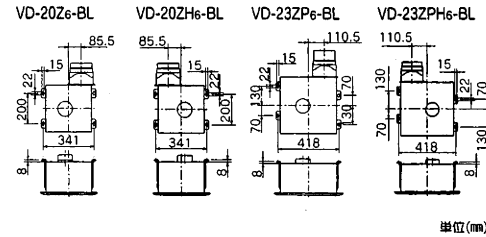
<div>⚠ 警告</div> <div>誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</div>	<div>⚠ 注意</div> <div>誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</div>
<div>🚫 禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 	<div>🚫 禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。
<div>🚫 水かけ禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。 	<div>🚫 浴室での使用禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気が多い場所には取付けない 感電・故障の原因。
<div>🚫 分解禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 	
<div>❗ 指示に従う</div> <ul style="list-style-type: none"> ●交流 100V を使用する 火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。 	<div>❗ 指示に従う</div> <ul style="list-style-type: none"> ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●部品の取付けは確実にを行う 落下によりけがの原因。 ●取付の際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
<div>⚡ アース確認</div> <ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付けてください 故障や漏電のときに感電のおそれがあります。 	

3. 取付方法

- 1 取付け前の準備
- 2 ダクト工事
- 3 本体を吊る
- 4 電気工事
- 5 軽量鉄骨を組む
- 6 本体の固定
- 7 天井材を張る
- 8 グリルの取付け
- 9 試運転

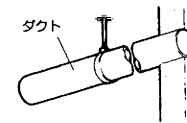
1 取付け前の準備

- (1)取付位置・壁穴穴位置を決めます。
- (2)吊りボルトを埋込みます。
右図を参照してあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋込みます。



2 ダクト工事

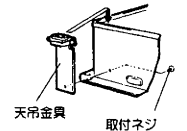
- 壁穴から本体のダクト接続口位置までダクト配管をします。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。



3 本体を吊る

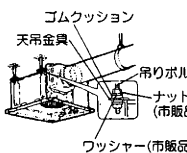
(野線を使用する場合は a を参照してください)

- 1 天吊金具P-08TK(システム部材)を取付けます。
●天吊金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定します。



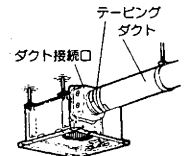
2 本体を吊ります。

- 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないよう市販のワッシャー・ナットにて確実な処置で固定します。



3 ダクト接続口とダクトを接続します。

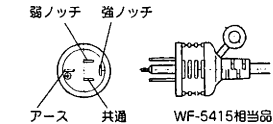
- ダクトをダクト接続口にし、しっかり差込んで風漏れのないようテーピング(市販品)してください。



お願い

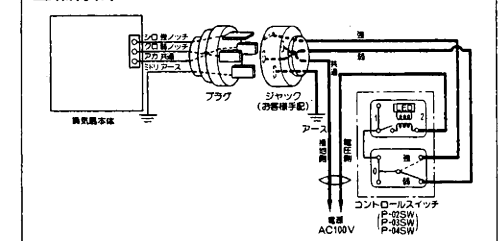
- 3の接続でダクト接続口にネジ止めする場合はシャッター動作を妨げない位置へネジ止めしてください。

4 電気工事



電源プラグをコンセントに差込んでください。
 ●電源コード先端には、3極接地形差込みプラグ(125V)がついていますので同形のコンセントを取付けてください。

■結線図

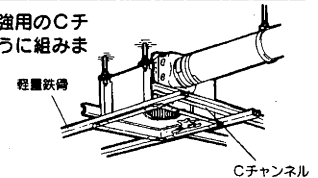


お願い

- 強弱運転タイプは、電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)は負担いただくこととなりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

5 軽量鉄骨を組む

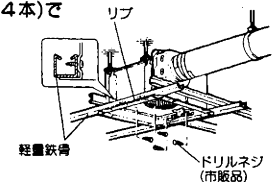
軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで右図のように組みます。



6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合

本体内部のリブ(4か所)を利用して市販のドリルネジ(4本)で軽量鉄骨に固定します。



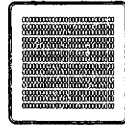
MITSUBISHI

ダクト用換気扇 台所用

販売店・工事店さま用

優良住宅部品「BL」認定

形名
 VD-20Z6-BL (BL規格台所用Ⅱ型) VD-23ZP6-BL (BL規格台所用Ⅳ型)
 VD-20ZH6-BL (BL規格台所用Ⅱ型) VD-23ZPH6-BL (BL規格台所用Ⅳ型)



取付工事説明書

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。
 なお「安全のために必ず守ること」は取付工上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗・台所の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込みスイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱電機換気送風機カタログより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクトのいずれかをご用意ください。

形名によって取付工事が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名確認
 グリル裏面に貼り付けてあります

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

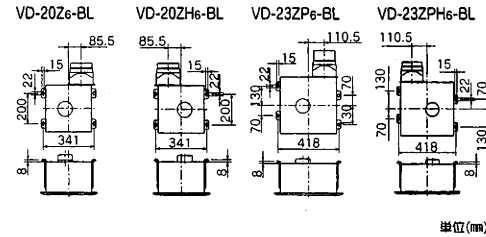
<div>⚠ 警告</div> <div>誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</div>	<div>⚠ 注意</div> <div>誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</div>
<div>🚫 禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 	<div>🚫 禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。
<div>🚫 水かけ禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。 	<div>🚫 浴室での使用禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気が多い場所には取付けない 感電・故障の原因。
<div>🚫 分解禁止</div> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 	
<div>❗ 指示に従う</div> <ul style="list-style-type: none"> ●交流 100V を使用する 火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。 	<div>❗ 指示に従う</div> <ul style="list-style-type: none"> ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。 ●部品の取付けは確実にを行う 落下によりけがの原因。 ●取付の際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
<div>⚡ アース確認</div> <ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付けてください 故障や漏電のときに感電のおそれがあります。 	

3. 取付方法

- 1 取付け前の準備
- 2 ダクト工事
- 3 本体を吊る
- 4 電気工事
- 5 軽量鉄骨を組む
- 6 本体の固定
- 7 天井材を張る
- 8 グリルの取付け
- 9 試運転

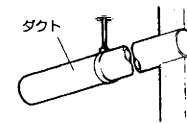
1 取付け前の準備

- (1)取付位置・壁穴穴位置を決めます。
- (2)吊りボルトを埋込みます。
右図を参照してあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋込みます。



2 ダクト工事

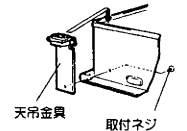
- 壁穴から本体のダクト接続口位置までダクト配管をします。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。



3 本体を吊る

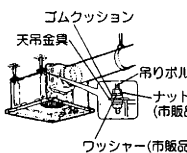
(野線を使用する場合は a を参照してください)

- 1 天吊金具P-08TK(システム部材)を取付けます。
●天吊金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定します。



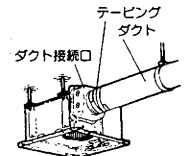
2 本体を吊ります。

- 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないよう市販のワッシャー・ナットにて確実な処置で固定します。



3 ダクト接続口とダクトを接続します。

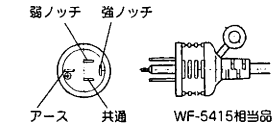
- ダクトをダクト接続口にし、しっかり差込んで風漏れの少ないようテーピング(市販品)してください。



お願い

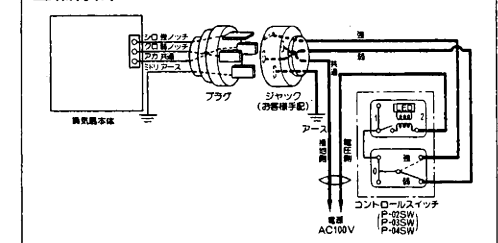
- 3の接続でダクト接続口にネジ止めする場合はシャッター動作を妨げない位置へネジ止めしてください。

4 電気工事



電源プラグをコンセントに差込んでください。
 ●電源コード先端には、3極接地形差込みプラグ(125V)がついていますので同形のコンセントを取付けてください。

■結線図

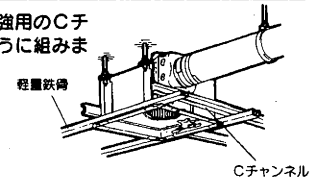


お願い

- 強弱運転タイプは、電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)は負担いただくこととなりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

5 軽量鉄骨を組む

軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで右図のように組みます。



6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合

本体内部のリブ(4か所)を利用して市販のドリルネジ(4本)で軽量鉄骨に固定します。

